

佐久市志 歴史編(二) 中世 目次

口絵写真

発刊のことば

監修にあたって

刊行にあたって

例言

序章 中世の展望

佐久の山河／東西のはざま／滋野系諸氏と源平争乱／
伴野氏と大井氏／南北朝動乱／幕府と鎌倉府の間で／

戦国時代の佐久／踊り念仏、佐久ではじまる

佐久市志刊行会長 三浦 大助

監修者 木村 礎

編集委員長 木内 寛

目 次
第一編 中世前期

第一章 武士の登場と背景

第一節 武士の発生と開発……………三五

一 佐久武士の誕生……………三五

鷹飼いと弓馬の道／牧と武士／在庁官人
と武士／源氏の土着

二 公領と荘園……………三五

佐久地方の公領と荘園／荘園の成立と牧
の発展／郷の成立と佐久武士

第二節 武士勢力の台頭と佐久……………四一

一 保元・平治の乱と佐久武士……………四一

保元の乱の勃発／信濃武士の参加／根井
大弥太の活躍／平治の乱の勃発／平氏の

二 木曾義仲と佐久武士……………五三

反撃／信濃武士の動向／平氏政権と信濃

義仲の出生と父義賢の死／駒王丸と中原

兼遠／反平氏の動き／木曾義仲の挙兵／

佐久武士の義仲軍入り／義仲と平賀氏／

横田河原の戦いと佐久武士／北陸道の小

競り合い／頼朝と義仲の不和／義仲の上

京／義仲の入京／水島の戦い／法住寺の

クーデター／義仲の滅亡

第二章 佐久と鎌倉幕府

第一節 鎌倉幕府の成立と佐久の御家人……………六七

一 鎌倉幕府の成立と信濃支配……………六七

鎌倉幕府の成立と信濃武士／鎌倉幕府の

信濃支配

二 幕府と佐久地方……………九〇

佐久武士の御家人化／平賀氏の動向／小

笠原氏の入部／大井荘の地頭

第二節 執権政治の始まりと佐久……………九七

一 比企事件と佐久……………九七

將軍頼家と近習／比企一族の滅亡／小笠

原長経の動向／信濃守護の交替

二 泉親衡事件と佐久……………一〇一

牧の方と平賀朝雅／平賀朝雅の野望／泉

親衡の陰謀／市村・籠山氏は佐久の御家

人か

第三節 承久の乱と佐久武士……………一〇七

一 承久の乱の勃発……………一〇七

乱のきっかけ／乱の勃発と志賀五郎／三

方面の軍

二 佐久武士の動向……………一一〇

幕府方佐久武士の活躍／京方についた佐

久武士／伴野遠久は佐久武士か／乱後の

佐久武士／大井朝光と伊賀虎武保

第四節 伴野・大井氏と執権政治……………一二六

一 執権政治と佐久……………一二六

知行国と信濃／藤原定家と北条氏と信濃

二 平賀氏と深沢氏……………一三〇

平賀氏と安芸国安芸町村地頭／平賀有信

は佐久御家人か／平賀氏から深沢氏へ／

深沢氏の系譜

三 小笠原一族の繁栄……………一三六

伴野・大井氏の分立／伴野六郎の活躍／

三浦氏の乱と小笠原一族

四 北条氏と佐久……………一三三

時頼の回国伝説

第五節 霜月騒動と北条氏の進出……………一三五

一 霜月騒動と伴野氏の没落……………一三五

霜月騒動の勃発／伴野氏の没落

二 北条氏の支配……………一三〇

北条氏系地頭の入部／霜月騒動後の伴野

氏

三 元弘の乱……………一三〇

鎌倉幕府体制の動揺／後醍醐天皇の倒幕

計画／鎌倉幕府の滅亡

第六節 佐久武士の動向……………一三〇

一 御家人と諸役……………一三〇

京都大番役／鎌倉番役／諏訪神社頭役／

佐久郡郷村の御頭勤仕／諏訪神社造管役

二 佐久武士の移住……………一三六

根井氏の移住／大井氏の由利郡移住／由

利十二頭／香坂氏の移住／平賀氏の移住

／安芸平賀氏／小早川氏と平賀氏／越後

の平賀氏／平賀氏と伊賀・伊勢／佐久滋

野諸族の水内郡移住／小田切氏の移住

第三章 中世前期の社会と文化

第一節 佐久の人々の生活と社会……………一三五

一 佐久地方の公領と荘園の分布……………一三五

鎌倉末期の公領と荘園／頭役負担と佐久

の荘郷／佐久地方の郷／伴野荘の伝領／

大井荘の伝領

二 武士と館……………一三五

生活根拠としての館／『一遍上人絵伝』

に見る武士の館／大井太郎の館と建物／

伴野館を巡って

三 交通と市場……………一三三

中世の佐久と東山道／木曾義仲と関東／

鎌倉道と甲州道／信仰と道／市の発達

第二節 宗教の発展……………一三三

一 仏教界の新気運……………一三三

鎌倉新仏教／臨濟宗の盛行／慈寿寺の開

創／浄土教の普及

二 一遍と佐久 …………… 三六

一遍の業績／踊り念仏のはじまり／床の

穴は一遍聖のかたみ／他阿真教と金台寺

／時衆の鉦鼓

三 諏訪・善光寺信仰 …………… 三三

諏訪信仰の普及／善光寺信仰／落合新善

光寺／時宗と善光寺

四 山岳信仰 …………… 三五

山岳信仰と修験／荒船山／関伽流山

五 鎌倉時代の文化財 …………… 三五

紙本著色一遍上人絵伝／紙本墨書他阿上

人自筆仮名消息／正法寺木造地藏菩薩半

伽倚像／竹田の鉦／金台寺の鉦／松原諏

訪神社の鐘／鉄鐘／相州新藤五国光

第二編 中世後期

第四章 佐久と南北朝の内乱

第一節 佐久と中先代の乱 …………… 三七

一 佐久の北条勢力 …………… 三七

神氏と北条氏／神氏と佐久武士／中先代

の乱

二 望月城の合戦 …………… 三五

滋野一党の立場／望月城の合戦

三 薩摩氏の活動と没落 …………… 三七

薩摩氏と佐久郡／薩摩氏の活動と滅亡

第二節 内乱と佐久の政情 …………… 三六

一 大井城合戦 …………… 三六

守護小笠原貞宗と大井朝行／大智院宮の 大井城攻め／大井城の陥落と大井氏	二
南北朝の対立と大井氏	二六六

第五章 室町時代の佐久武士

第一節 守護に反抗する佐久武士	三三一
-----------------	-----

一 大塔合戦	三三一
--------	-----

幕府と鎌倉府の対立／斯波氏の支配と国
人の反抗／守護小笠原長秀と大井光矩／
佐久武士の出陣

二 合戦後の状況	三三六
----------	-----

幕府の信濃直轄支配／佐久の国人勢力

第二節 関東の争乱と佐久	三五〇
--------------	-----

一 関東と境界をなす佐久	三五〇
--------------	-----

上杉禪秀の乱／小笠原政康登場／碓氷峠

その他の峠道

二 佐久の混乱	三五六
---------	-----

大井氏と芦田氏の争い／焦点に立つ村上

氏

第三節 荘園・公領の変貌	三〇五
--------------	-----

一 武士の荘園・公領の侵略	三〇五
---------------	-----

国人の台頭／伴野長房の活動／伴野長房

の地位／観応の擾乱と長房／松原神社縁

起と伴野長房／伴野長房の戦死／大井氏

の勢力拡大／芦田氏の降伏／平賀氏の滅

亡

二 荘園と民衆	三三六
---------	-----

荘園と在家／大徳寺の在家支配／伴野荘

の年貢と在家

三 永享・結城の乱と佐久……………三六

永享の乱／永寿王丸と安養寺／結城陣番

帳にみる佐久武士／大井氏の呼応

四 佐久の内乱……………三六

足利成氏と佐久／平賀の乱

五 大井惣領家の諸説……………三七

大井氏の支配／大井氏の世代／村上氏と

大井氏／大井氏と甲州／依田窪上城の大

井氏と大井城主／依田窪上城大井氏と武

田氏／長窪大井氏の岩村田大井氏惣領の

継承

補 説……………三六

平賀玄信研究史考……………三六

はじめに／實在説の文献／平賀玄信架空

説／村上氏の佐久郡進出と玄信

第六章 戦国大名の支配と佐久

第一節 佐久武士の分立……………四二

一 大井氏の衰没……………四二

大井氏と伴野氏の対立／大井氏本家没

落／岩村田城下

二 伴野氏……………四〇

伴野氏の活動／前山城主伴野氏／光利時

代以降の伴野氏／前山城下

三 芦田・相木氏……………四五

芦田氏の自立／相木氏の自立

第二節 武士の地域支配……………四三

一 国人武士の領域支配……………四三

大井氏／伴野氏

二 地侍と郷村……………四五

上社頭役にみる郷村と地侍

第三節 武田氏の支配…………… 四〇

一 武田氏の佐久侵略…………… 四〇

武田信虎と佐久／武田晴信の佐久侵入／

武田氏の信濃平定と佐久／武田氏の上野

侵略と佐久

二 武田氏の軍事編成…………… 四七

武田氏の築城／佐久武士と武田氏／宛行

状と佐久／武田氏の軍役／佐久と小山田

氏

三 武田氏の佐久支配…………… 四二

佐久の御料所／武田氏と検地／治安と徴

所／裁判と甲府金桜神社の鐘／武田枅と

甲州金／武田氏と佐久の職人

四 武田氏と佐久の寺社…………… 四九

龍雲寺と武田氏／佐久の寺院と武田氏／

修験と武田氏／諏訪社と佐久

第四節 徳川家康の進出…………… 五〇

一 武田氏の滅亡…………… 五〇

武田信玄の死／長篠の敗戦／武田氏の滅

亡

二 家康の制圧と佐久武士…………… 五九

織田氏の佐久郡支配／依田信蕃の活躍

三 依田氏の支配…………… 五五

徳川勢の佐久郡進出／上州に去った佐久

武士／依田信蕃の佐久郡統一／依田氏の

佐久郡支配／依田氏の移封／依田氏の改

易

第五節 佐久市域の城館…………… 五三

一 城館の分布と様相…………… 五三

城館跡の現況／城館跡の分布／城館の編

年／館・平城・山城／狼煙台

二 城館と集落…………… 五三

内山城と館／前山城と集落／伴野館と市

庭／野沢城と城下町／平尾氏館と平尾

城／岩尾城と小屋

第七章 中世後期の社会と経済

第一節 郷村の変貌…………… 六一

一 戦乱下の郷村…………… 六一

文明ころまでの郷村／永禄七年ころの村

々／地侍の交代

二 村落と用水…………… 六一

中世末期の用水開削／中世の新田村

三 農民生活…………… 六一

郷村の生活／衣・食・住

第二節 諸職と交通…………… 六四

一 職人と商人…………… 六四

中世の鋳物師／中世に信濃へ来た鋳物師

師／信濃での鋳の入手／佐久鋳物師の定着

御蔵供御人としての大名家／鋳物師

定着の意義／遍歴する大工／野沢の小泉

氏／龍雲寺門前の大工／佐久郡の棟梁丸

二 交通…………… 六三

武田氏の伝馬制／生活道路

山氏／他国鍛冶の活躍／岩村田の鍛冶／野沢郷の鍛冶／樋村の鍛冶／岩村田の町／野沢の町／市場／小金平の備蓄銭

第八章 中世後期の文化

第一節 宗教の発展…………… 七二

一 仏教の展開…………… 七二

寺院創立の盛行／臨済宗の動向／曹洞宗の地方へのひろまり

二 修験の発展…………… 七五

修験の系列化と大井法華堂

三 板碑と五輪塔…………… 七六

板碑／出土地／五輪塔／佐久市の五輪塔

第二節 中世の社寺…………… 七九

一 神 社…………… 六九

山田神社／平尾大社／近津神社／新海神

社／鼻顔稲荷社／岩村田若宮八幡宮／横

根諏訪神社／平賀神社

二 寺…………… 六九

新善光寺／慈寿寺／龍雲寺／正法寺／西

念寺／長福寺／円満寺／桃源院／金台

寺／貞祥寺／長命寺／専立寺／多福寺／

宝藏寺／最明寺／竜泉寺／薬師寺／延命

寺／宗福寺／園城寺／大徳寺／正安寺／

大林寺／安養寺／守芳院

三 建築・彫刻…………… 七四

駒形神社本殿／平尾大社本殿／桃源院木

造地藏菩薩坐像／中善寺大般若経／木造

法燈国師坐像／木造阿弥陀如来と両脇侍

立像

第一節 土に残された形跡…………… 三

一 中世の調査遺跡…………… 三

城郭／屋敷と集落

二 建物址…………… 三

竪穴建物址／掘立柱建物址／竪穴建物址

と掘立柱建物址

三 井戸址…………… 三

四 土 坑…………… 三

五 中世のその他の遺構…………… 三

溝状遺構／柵址

第二節 中世遺構からの出土品…………… 三

一 土 器…………… 三

かわらけ／土鍋

二 陶磁器…………… 三

三 石製品…………… 三

四 鉄製品…………… 三

五 木製品…………… 三

六 貨 幣…………… 三

第九章 発掘調査からみた人々の生活

索引

付録

佐久市域の城館跡

佐久市志関係者名簿

佐久市志刊行会

佐久市志刊行会運営委員会

佐久市志監修者名簿

歴史編(一)中世 編纂関係者

歴史編(二)中世 執筆者と執筆項目

歴史編史料提供者名簿

刊行会事務局

教育委員会事務局

編集後記

編纂委員長

木内

寛

目次